

● 地域の情報や身近な話題、
耳寄りな情報をお待ちしています！

★ 新たな雇用へ期待 総合加工場が完成

東町漁業協同組合（長元信男組合長）が建設していた水産物総合加工場が完成し、10月31日、安全操業祈願祭と落成式がありました。

新加工場は、単身世帯の増加や食のニーズの変化など社会環境の変化に対応すべく、これまで利用度の低かった安価な魚やブリの中落ち、アオサを使った加工品などを手掛けます。

祭事には長元組合長をはじめ、工事関係者や組合員など約130人が出席しました。

午後の落成式では、石塚政廣副町長が「新たな加工場が雇用の場を創出し、町の発展、水産業の活性化につながることに期待したい」と祝辞を述べました。



↑新加工場前でテープカットする長元組合長（中央）ら

★ 伊唐の濱マサコさん 工サ与え、野生のカモなつく

伊唐北港で1羽の野生のマガモがなつき、話題となっています。

マガモをなつかせたのは、同集落の濱マサコさんで、港近くに住む濱さんは夏ごろから、1羽のマガモが港内で鳴く姿を見て、パンを与えられるようになりました。毎日声をかけながら、エサを与え続けるうちにかわいがるようになり、姿を見せない日があると心配でたまりません。

昼間、マガモは仲間たちと遊んでいるようですが、夕方、濱さんが呼び寄せると、沖の方から鳴き声をあげながら水面を泳いで、近寄ってきます。

濱さんは「エサをやるのが生きがいになった。かわいくてたまらない。淋しくなるかもしれないが、仲間と一緒に飛び立ってほしい」と話しました。



↑岸壁からエサを投げ与える濱さん



←与えられたエサをついばむカモ